

デンマークから学ぶ
私たちが幸せに生きていける社会の実現

The realization of society where Japanese children are happier

英語班：別所 柚香 国本 ころ

要約

ユニセフの38か国調査によると、日本の子どもの精神的幸福度は、G7で最も低くなっているという結果を受け、子どもの幸福について興味を持ち、政治と幸福度に相関関係があるのではないかと推察した私たちは、幸福度の高い国々の中でも、「世界一幸せな国」と呼ばれるデンマークの政治に注目し、日本の子どもたちがより幸せになる方法について調査した。

Abstract

According to the UNICEF 38-country survey, Japanese children are ranked first in physical health, while they are ranked lowest in their mental well-being among the countries in G7. We assumed that mental health can be affected by family financial difficulties or future anxiety, and researched how we can make a better society where Japanese children can feel happier by studying the situation in Denmark, which is one of the countries ranked high in the survey of mental well-being by UNICEF.

1. 序論

ユニセフの38か国調査によると、日本の子どもの精神的幸福度は、G7で最も低くなっているというネットニュースを目にした。そこで人間の幸福度について興味を持ち、調査を進めていくと、「何が人を幸せにするか？経済的・社会的諸要因そして倫理の役割復活(2015. 10. 31)(岡部光明)」によると、「人の幸福感に関連する要素は大きく3つに分けることができる。」との記述があった。その中の1つには「個人が社会の在り方に関与できるかどうか」という要素が含まれており、私たちはこの観点に着目し、政治に焦点を当て、世界の国々の国政選挙での投票率と、ユニセフの世界幸福度ランキングの結果を比較し、それぞれ上位20位の国々での重複度について調査することで、幸福度と政治には相関関係があるのかどうかについて研究することにした。また、世界で幸福度の高い国々について調査するうちに、デンマークが「世界一幸せな国」と呼ばれていることを知り、デンマークの政治体制の特徴について調べ、日本の子どもが幸せに暮らすための政治体制について探っていくことにした。

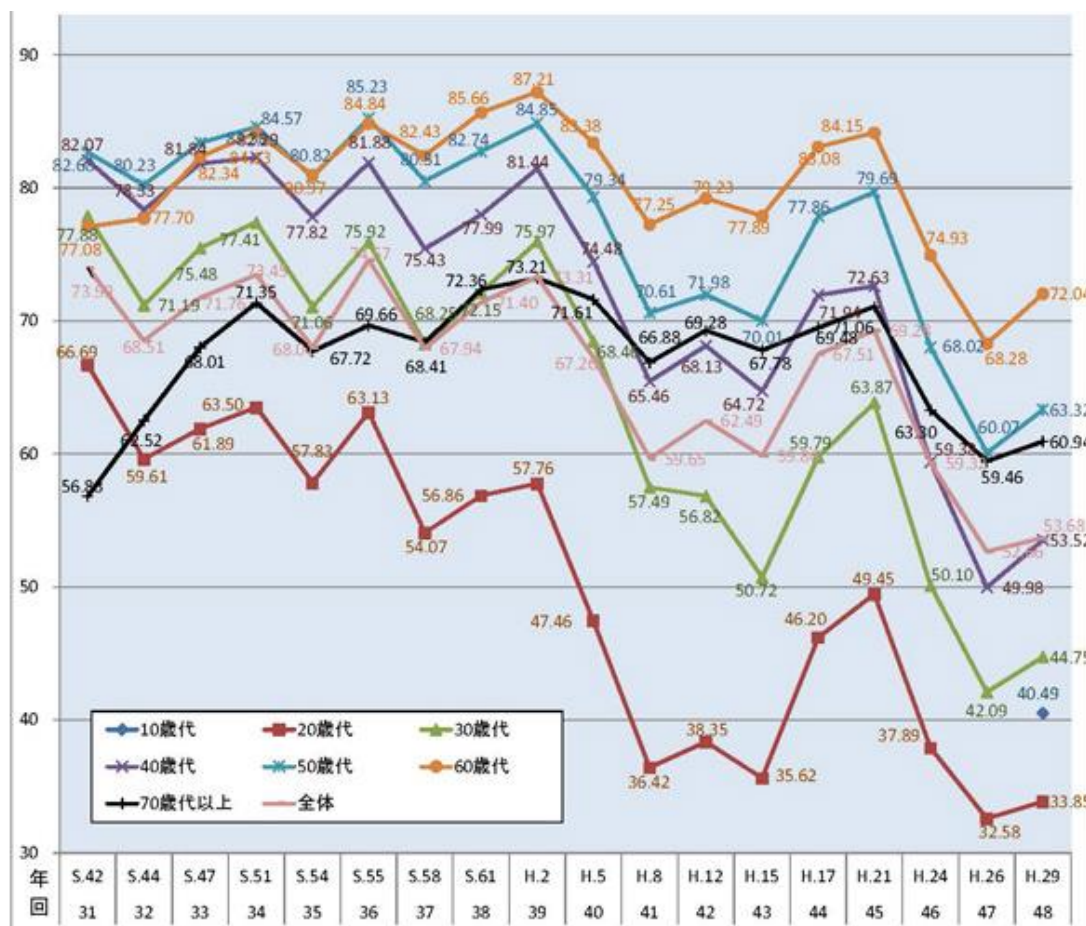
2. 研究手法

世界の国々の国政選挙での投票率と、ユニセフの世界幸福度ランキングの結果を比較し、そ

それぞれ上位 20 位の国々での重複度について調査する。デンマークの政治体制の特徴について調べ、日本の子どもが幸せに暮らすための政治体制について探る。

3. 結果

まず、日本国民の政治に対する関心度について知るために、日本の国政選挙での投票率と全体の投票率の推移について調査した。平成 29 年 10 月に行われた、第 48 回衆議院議員選挙での投票率は、10 代が 40.49%、20 代が 33.85%、30 代が 44.75%、40 代が 53.52%、50 代が 63.32%、60 代が 72.04%、70 代以上が 60.94%という結果になっていた。若年層(10 代~30 代)の人々は中~高齢層(40~70 代以上)の人々と比較すると、国政選挙での投票率は低くなっており、政治への関心が比較的に弱いということが推察される。また、平成 2 年から平成 29 年までに行われた衆議院議員選挙での年代別投票率の平均を比較すると、次のような結果になった。



H2 : 73.31%

H5 : 67.26%

H8 : 59.65%

H12 : 62.49%

H15 : 59.86%

H17 : 67.51%

H21 : 69.28%

H24：59.32%

H26：52.66%

H29：53.68%

このことから、変動はあるものの全体の投票率は減少傾向にあり、平成2年度と平成29年度の結果を比べると、約20%減少したことが分かり、日本全体としての政治への関心も弱くなっていることが推察される。

次に、政治と幸福度との相関関係について調査するため、世界の国々の国政選挙での投票率と、ユニセフによって調査された世界幸福度ランキングの結果を比較していく。

OECD各国の国政選挙での投票率は、以下の表のようになっている。

オーストラリアは91.9%、ルクセンブルクは89.7%、ベルギーは88.4%と順にこのようになっている。一方、日本は37か国中30位という結果になっており、世界の発展した国々と比較しても、政治的関心が弱いということが推察される。

続いて、国連の世界幸福度ランキングの結果について調査する。1位はフィンランド、2位はデンマーク、3位はスイスと、順に以下の表が示す結果となった。

	国政選挙投票率	世界幸福度ランキング
オーストリア	1位	9位
ルクセンブルク	2位	10位
スウェーデン	4位	7位
デンマーク	6位	2位
オランダ	7位	6位
アイスランド	8位	4位
ニュージーランド	9位	8位
ノルウェー	10位	5位

ここで、政治への関心と幸福度との関係について調査するために、国政選挙での投票率の順位と幸福度ランキングの結果について比較する。各ランキング10位以内で、かつどちらのランキングでも名前が挙がった国を図示すると、上の表のようになった。この結果から、多くの国々が両方の調査において高い順位になっていることがわかる。さらに範囲を広げ、上位20か国の国々の中で調査した結果、15か国もの国々が、両方の調査においてランクインしていることが明らかになった。このことから、政治への関心・投票率と幸福度との間にはなんらかの相関関係があることが考えられる。

この結果を踏まえ、「世界一幸せな国」と呼ばれるデンマークにおける政治の現状について調査し、日本の子どもたちが幸せを感じる社会の実現について、探っていこうと思う。

デンマークでの国政選挙での投票率は84.6%(2021 OECD 同盟国37か国中6位)と、多くの国民が投票をしていることがわかる。また、デンマークには、他に投票率が高い国として挙げられるオーストラリアやベルギーのように、投票に行かなかった際の罰則(罰金や公民権剥奪など)が設けられていないため、国民は自ら積極的に投票を行い、選挙に参加していることが推察される。

また、政治に関心があると答えた人の割合は、77.4%(2016 24か国中4位)と国民の8割近く

の人々が政治に関心を持っていることがわかる。また、政府に高い信頼を置いている人の割合は 58.7%(2010 34 か国中 6 位)で、自国における民主主義の現状を誇りに思っている人の割合は 85.2%(2013 26 か国中 3 位)であった。これらの結果から、デンマークの人々は自国で行われている政治に対し、満足している人の割合が、世界的に見て多くなっていると考えられる。

これらの統計から、デンマークの政治的特徴は、国民がそれぞれ政治に関心を持ち、投票をしていること、そして、自分の国で行われている政治に対し、満足感を持っていることであると推察した。

この推察をもとに、日本の子どもが幸せになるためには、国民が政治に対し関心を持ち、投票に行くことだと考えた。日本の国政選挙の統計から分かったように、若年層の人々の投票率は非常に低く、政治に対する関心が低い。現在、日本では 50 代から 70 代以上にかけての投票率が高くなっており、中年層から高齢者に対する政策が比較的多く打ち出されていると推察した。10 代から 30 代までの若者が、政治をリードするのは自分自身だという認識を持ち投票を行い、若者に対する政策が取られるようになれば、政治への満足度も上昇し、それに伴って幸福度も上昇すると考えた。

4. 考察

- ・政治への関心、また、投票率と幸福度の間にはある程度の相関関係が見られる。
- ・日本の子どもたちが幸せになるためには若者が政治に関心を持ち、投票を行うことが必要である。

5. 結論

デンマークでの政治の現状より、政治をリードするのは私たち国民であるという意識と政治に関心を持ち、参加することが日本の子どもたちがより幸せになるためには必要である。今後の展望としては、デンマークをはじめとする、幸福度が高く、政治に対する高い意識を持つ国々では、若者が政治に興味を持つような取り組みや対策が行われているのかどうかについて調査し、日本の若者が政治に関心を持つためにはどうすればよいのかについて研究していこうと思う。

現在、新型コロナウイルスの流行により、政治が私たちの生活により一層大きな影響を及ぼすようになった。また、少子高齢化やジェンダー格差など日本では多くの問題が上げられる。この現状を変えるために、もうすぐ有権者になる私たちは政治、選挙としっかり向き合っていくことが必要ではないだろうか。

6. 参考文献

ユニセフ報告書「レポートカード 16」

<https://www.unicef.or.jp/news/2020/0196.html>

衆議院議員総選挙における年代別投票率の推移

https://www.soumu.go.jp/senkyo/senkyo_s/news/sonota/nendaibetu/

国際日本データランキング

<http://www.dataranking.com/table.cgi?LG=j&RG=3&CO=Japan&GE=pg&TP=&TM=>

岡部光明「何が人を幸せにするか？経済的・社会的要因そして倫理の役割復活」(2015.10.31)
https://meigaku.repo.nii.ac.jp/?action=pages_view_main&active_action=repository_view_main_item_detail&item_id=1297&item_no=1&page_id=13&block_id=21